平成25年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年１月８日

上場会社名　　株式会社　良品計画　　上場取引所　東
コード番号　　7453　　ＵＲＬ　http://ryohin-keikaku.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）金井　政明
問合せ先責任者　（役職名）経理財務担当部長　　（氏名）武内　健治　　ＴＥＬ　03-3989-7381

四半期報告書提出予定日　　平成25年１月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第３四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年11月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第３四半期	140,182	6.0	15,183	24.7	15,784	25.6	8,289	15.8
24年２月期第３四半期	132,253	4.4	12,172	16.9	12,569	17.8	7,157	13.0

（注）包括利益　25年２月期第３四半期　9,782百万円（63.4%）　24年２月期第３四半期　5,986百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第３四半期	309.39	308.23
24年２月期第３四半期	267.19	266.35

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年２月期第３四半期	113,620	90,439	78.0	3,309.38
24年２月期	102,293	83,528	80.0	3,055.61

（参考）自己資本　25年２月期第３四半期　88,675百万円　24年２月期　81,861百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	－	55.00	－	55.00	110.00
25年２月期	－	55.00	－		
25年２月期（予想）				55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,220	7.3	19,400	25.7	19,460	20.6	10,550	19.2	393.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名　　）、除外　－社　（社名　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
（注）詳細は、【添付資料】Ｐ．４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無
（注）詳細は、【添付資料】Ｐ．４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期３Ｑ	28,078,000株	24年２月期	28,078,000株
②　期末自己株式数	25年２月期３Ｑ	1,282,932株	24年２月期	1,287,332株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期３Ｑ	26,793,052株	24年２月期３Ｑ	26,789,668株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）個別業績予想

平成25年2月期の個別業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	159,114	5.4	16,072	25.6	16,599	21.0	8,608	17.7	321	25

（注）個別業績予想の数値の当四半期における修正の有無： 無

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10
４.補足情報 …… 11
（１）販売実績 …… 11
（２）仕入の状況 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、主にユーロ圏の景気減速の影響を受け、先行き不透明感に覆われました。そのユーロ圏における2012年７－９月期の実質ＧＤＰ成長率は、高債務国の緊縮財政の影響を受け、前年同期比0.1%のマイナスと、２四半期連続のマイナス成長となりました。また、中国においては、ユーロ圏向け輸出の減少が継続したことにより、2012年７－９月期の実質ＧＤＰ成長率は、前年同期比7.4%のプラスにとどまる結果となり、７四半期連続の成長率低下となりました。一方、米国における2012年７－９月期の実質ＧＤＰ成長率は、前年同期比年率2.0%のプラスと、13四半期連続のプラス成長となりました。これは、低調な企業活動を個人消費活動が底支えしたことが影響いたしました。

また、国内では、2012年７－９月期の実質ＧＤＰ成長率が、前年同期比マイナス0.9%となりました。なかでもＧＤＰの約60%を占める個人消費が前年同期比0.5%のマイナスと２四半期連続のマイナスとなりました。また、国内内需に加えて、前年同期比マイナス5.0%となった輸出の低迷が影響いたしました。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良いくらし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取組み（廃棄物削減）』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切にする活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

営業収益	1,401億82百万円（前年同期比6.0%増）
売上高	1,396億79百万円（前年同期比6.0%増）
営業利益	151億83百万円（前年同期比24.7%増）
経常利益	157億84百万円（前年同期比25.6%増）
四半期純利益	82億89百万円（前年同期比15.8%増）

国内事業及びアジア事業を中心に売上高が伸長したことに加え、経費の効率化を進めたことにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前年同期に続いて２桁の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は、直営店の売上高が前年同期比4.8%の増加、ＷＥＢ事業の売上高が前年同期比17.6%の増加となり、高い伸びを示しました。

商品別では、衣服・雑貨部門においては、ウール素材のバリエーションを訴求したキャンペーン「ウール地球大」が好調に推移いたしました。ペルーのアンデス山脈で育ったアルパカの毛を使った「アルパカシリーズ」、冬のアルプスの厳しい寒さに耐えたフランス産のウール「フレンチウールシリーズ」、風合いの良いウールとカシミヤの混紡「ウールカシミヤシリーズ」など、素材の持つ特長を生かしたものづくりが支持を受けました。また、「首のチクチクをおさえた洗えるタートルネック」や、手袋をはめたままで静電式タッチパネルの操作ができる「タッチパネル手袋」など、昨年の売れ筋商品についても安定して伸長いたしました。

生活雑貨部門においては、新商品の「収納ベッドシリーズ」など家具が伸長いたしましたが、ステーショナリー及びハウスウェアなど日用品が低調に推移いたしました。

また、食品部門においては、前年同期に実施したテレビコマーシャルを本年は実施しなかったことが影響し、前年同期に比べて減収となりました。

出退店は、16店舗の出店、３店舗の退店を実施し、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は、269店舗となりました。

この結果、国内直営事業の営業収益は941億41百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は109億20百万円（同30.4%増）となりました。

② 国内供給事業

一般供給先店舗及び西友店舗は、国内直営事業と同様に衣服・雑貨部門の店頭売上高が好調に推移いたしましたが、生活雑貨部門及び食品部門の店頭売上高は低迷が続きました。その結果、供給売上高も減収となりました。また、ファミリーマートグループへの供給事業は、新商品の伸びが鈍く減収となりました。

出退店は、２店舗の出店を実施し、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は、118店舗となりました。

この結果、国内供給事業の営業収益は206億43百万円（同2.0%減）、セグメント利益は20億12百万円（同13.1%増）となりました。

③ 欧州地域事業

フランス、イタリア、ドイツにおいて、複数店舗を出店しマーケットの拡大に努めましたが、ユーロ圏の景気減速に加え、円高の影響で仕入原価が上昇したことにより、既存店の利益を圧迫いたしました。

商品別では、昨年から本格的に販売した「アロマディフューザー」、「タッチパネル手袋」などが引き続き好調に推移いたしました。

出退店は、７店舗の出店（直営店）、１店舗の退店（直営店）を実施し、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は、60店舗となりました。

この結果、欧州地域事業の営業収益は51億97百万円（同2.3%減）、セグメント損失は62百万円（前年同期は１億91百万円の利益）となりました。

④ アジア地域事業

強化地域である中国本土では、９月後半に発生した政治問題によるデモの影響により、一時的に売上が低迷いたしましたが、新規出店が順調に進み、売上高及び営業利益ともに高水準の伸びを維持しております。一方、香港を含む他のアジア各国・地域においては、売上が伸長したものの、在庫調整に伴う値下拡大により売上総利益率の悪化が影響し、減益となりました。

出退店は、27店舗の出店（うち５店舗は供給店）、３店舗の退店（うち１店舗は供給店）を実施し、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は129店舗となりました。

この結果、アジア地域事業の営業収益は130億41百万円（同25.4%増）、セグメント利益は９億73百万円（同26.2%増）となりました。

⑤ その他地域事業

その他地域のアメリカ合衆国では、売上高が引き続き２桁増となったことに加え、販管費の合理化も進行いたしました。

当第３四半期連結会計期間末の店舗数は４店舗で、増減はありません。

この結果、その他地域事業の営業収益は８億59百万円（同19.0%増）、セグメント利益は52百万円（同298.7%増）となりました。

⑥ その他事業

当社の事業であるカフェ・ミール事業においては、10月に１店舗の新規出店を行い増収となりました。一方、ＩＤＥＥ事業においては、４月に１店舗出店したことにより増収となりましたが、販管費も増加したため減益となりました。

この結果、その他事業の営業収益は62億98百万円（同8.3%増）、セグメント利益は13億47百万円（同10.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、1,136億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ113億26百万円増加いたしました。これは主に、定番性の高い商品の販売機会ロスを減らす為に在庫水準を高めたことによる商品の増加61億29百万円、現金及び預金の増加25億80百万円、売掛金の増加24億３百万円によるものです。

負債は231億81百万円と44億16百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加34億14百万円によるものです。

純資産は904億39百万円と69億10百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加53億42百万円、その他有価証券評価差額金の増加13億83百万円によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月４日付「平成25年２月期　第２四半期決算短信」にて発表いたしました連結業績予想について、変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の算定方法）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益の算定にあたり、ストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第３四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は266円30銭であります。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,033	18,613
受取手形及び売掛金	4,988	7,391
有価証券	9,012	5,817
商品	21,869	27,998
仕掛品	24	116
貯蔵品	15	61
未収入金	4,732	6,931
その他	3,160	3,257
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	59,833	70,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,882	21,012
減価償却累計額	△11,688	△12,675
建物及び構築物（純額）	8,194	8,336
機械装置及び運搬具	1,828	1,515
減価償却累計額	△1,390	△1,328
機械装置及び運搬具（純額）	438	187
工具、器具及び備品	9,515	10,711
減価償却累計額	△7,546	△8,298
工具、器具及び備品（純額）	1,968	2,413
土地	1,038	1,324
建設仮勘定	97	518
その他（純額）	7	4
有形固定資産合計	11,743	12,784
無形固定資産		
のれん	0	33
その他	3,695	3,853
無形固定資産合計	3,696	3,887
投資その他の資産		
投資有価証券	10,140	10,681
敷金及び保証金	15,001	14,917
その他	2,057	1,331
貸倒引当金	△179	△165
投資その他の資産合計	27,020	26,765
固定資産合計	42,460	43,437
資産合計	102,293	113,620

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,933	12,348
短期借入金	67	346
未払法人税等	3,235	2,895
賞与引当金	186	228
役員賞与引当金	71	52
店舗閉鎖損失引当金	152	46
その他	5,539	6,678
流動負債合計	18,186	22,595
固定負債		
役員退職慰労引当金	115	109
解約不能賃借契約損失引当金	80	85
その他	382	391
固定負債合計	578	585
負債合計	18,765	23,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,119	10,120
利益剰余金	72,183	77,525
自己株式	△3,961	△3,947
株主資本合計	85,107	90,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△829	553
為替換算調整勘定	△2,416	△2,343
その他の包括利益累計額合計	△3,245	△1,789
新株予約権	286	313
少数株主持分	1,380	1,450
純資産合計	83,528	90,439
負債純資産合計	102,293	113,620

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年11月30日）
売上高	131,748	139,679
売上原価	71,484	74,188
売上総利益	60,264	65,491
営業収入	504	502
営業総利益	60,768	65,993
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,036	2,819
配送及び運搬費	4,855	5,559
従業員給料及び賞与	13,253	14,001
役員賞与引当金繰入額	53	50
借地借家料	13,677	14,463
減価償却費	2,280	2,268
その他	11,440	11,647
販売費及び一般管理費合計	48,595	50,810
営業利益	12,172	15,183
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	268	277
持分法による投資利益	143	79
為替差益	－	106
その他	92	130
営業外収益合計	525	614
営業外費用		
支払利息	0	4
為替差損	114	－
その他	13	7
営業外費用合計	128	12
経常利益	12,569	15,784
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17	－
店舗閉鎖損失引当金戻入額	201	－
解約不能賃借契約損失引当金戻入額	32	－
特別利益合計	251	－
特別損失		
固定資産除却損	150	71
投資有価証券評価損	－	1,625
災害による損失	386	－
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	46
その他	17	14
特別損失合計	554	1,758
税金等調整前四半期純利益	12,265	14,025
法人税等	4,838	5,750
過年度法人税等	188	－
少数株主損益調整前四半期純利益	7,239	8,275
少数株主利益又は少数株主損失（△）	81	△13
四半期純利益	7,157	8,289

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,239	8,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△835	1,383
為替換算調整勘定	△382	112
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	11
その他の包括利益合計	△1,253	1,506
四半期包括利益	5,986	9,782
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,950	9,745
少数株主に係る四半期包括利益	35	36

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他（百万円）（注）１	調整額（百万円）（注）２	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）３
	国内直営事業（百万円）	国内供給事業（百万円）	欧州地域事業（百万円）	アジア地域事業（百万円）	その他地域事業（百万円）	計（百万円）			
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	88,929	21,065	5,321	10,396	722	126,435	5,817	－	132,253
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	9	2	－	－	－	11	11,741	△11,753	－
計	88,938	21,068	5,321	10,396	722	126,447	17,559	△11,753	132,253
セグメント利益	8,376	1,778	191	771	13	11,131	1,215	△174	12,172

（注）　１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外供給事業、飲食事業、キャンプ事業、生花販売事業、住宅販売事業、調達物流事業、ＩＤＥＥ事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△174百万円にはセグメント間取引消去△174百万円、のれんの償却額０百万円が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年３月１日 至　平成24年11月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他（百万円）（注）１	調整額（百万円）（注）２	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）３
	国内直営事業（百万円）	国内供給事業（百万円）	欧州地域事業（百万円）	アジア地域事業（百万円）	その他地域事業（百万円）	計（百万円）			
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	94,141	20,643	5,197	13,041	859	133,883	6,298	－	140,182
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	3	－	－	－	10	13,076	△13,087	－
計	94,147	20,647	5,197	13,041	859	133,894	19,375	△13,087	140,182
セグメント利益又は損失（△）	10,920	2,012	△62	973	52	13,896	1,347	△60	15,183

（注）　１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外供給事業、飲食事業、キャンプ事業、住宅販売事業、調達物流事業、ＩＤＥＥ事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△60百万円にはセグメント間取引消去△59百万円、のれんの償却額０百万円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）販売実績

当第３四半期連結累計期間における販売実績（売上高）をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		売上高（百万円）	前年同四半期比（%）
国内直営事業	直営	85,284	104.8
	ＷＥＢ	8,725	117.6
	小計	94,010	105.9
国内供給事業		20,643	98.1
欧州地域事業	イギリス	2,091	96.3
	フランス	1,501	101.9
	ドイツ	822	102.6
	イタリア	719	91.4
	小計	5,134	98.1
アジア地域事業	中国	5,999	151.2
	香港	4,872	111.9
	韓国	1,139	94.7
	シンガポール	1,019	117.7
	小計	13,031	125.4
その他地域事業	アメリカ合衆国	836	117.8
報告セグメント計		133,657	105.9
その他		6,022	108.2
合計		139,679	106.0

（注）１．上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。
２．上記の金額は、売上高の金額であり、営業収入は含まれておりません。
３．売上高の商品別の構成は次のとおりであります。

	売上高（百万円）	前年同四半期比（%）
衣服・雑貨	49,406	112.8
生活雑貨	73,408	103.3
食品	10,798	97.6
その他	6,066	104.3
合計	139,679	106.0

（注）１．上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。
２．上記の金額は、売上高の金額であり、営業収入は含まれておりません。

（２）仕入の状況

セグメントの名称	仕入高（百万円）	前年同四半期比（%）
国内直営事業	51,549	103.3
国内供給事業	15,065	95.0
欧州地域事業	2,507	79.7
アジア地域事業	8,484	107.8
その他地域事業	444	105.2
報告セグメント計	78,052	101.1
その他	13,049	104.3
合計	91,102	101.6

（注）１．上記の金額は、内部取引消去前の数値であります。
２．上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。